

## 題名 つるでリースを作る

### 1．学習のねらい

身近な植物であるクズのつるを使ってリースを作ります。

- (1) 普段は、あまり活動しない冬の野原で活動することにより、冬の風物に触れることができます。
- (2) 自然の恵み（素材）を人の活動に生かすことにより、人と自然環境とのつながりに気づきます。

### 2．実施について

- (1) 実施時期：12月～2月ごろ

一般にリースといえばクリスマスリースと思われがちですが、それにこだわることなく、クズの葉が落葉し、他の草も冬枯れていて、つるが採集しやすい時期が適期といえます。

- (2) 実施場所：校区内のクズの生えているところで採集し、図工室などで作ります。
- (3) 指導時間：採集に2時間。制作に2時間。（ただし、学年によります。）
- (4) 指導対象：中学年

### 3．準備するもの

- (1) 剪定ばさみなどの頑丈なはさみや、軍手などの用意だけで充分です。
- (2) コセンダングサなどのひっつき虫がたくさんつくので、服装に配慮して下さい。
- (3) いろいろな木の実をつける場合は、ふつうのボンドよりホットボンドが便利です。（ホットボンドは、ホームセンターなどで安価で購入できます。）

### 4．学習の進め方

- (1) つるを採取します。

クズは、くず粉が採れるなどの有用性もあります。しかし、今ではほとんど利用されず、害草と化している場合が多く、おもに川原や、土手、池の堤などで大量に採取できます。クズのつるは、太さが均一で長く延びることが特徴です。初めての子どもにも、とても扱いやすく、フジやアケビなどよりリース作りに適しています。その年に延びた部分は緑色でしなやかさに乏しく、細いので使いづらいものです。

- (2) リースを作ります。

つるは、採取したその日に使います。乾燥すると堅く、折れやすくなります。また、長すぎると編みにくいので、子ども用の場合、3～4mぐらいに切ります。

つるの真ん中に、作りたい大きさのマルを作り、右半分、左半分に分けてねじっていきます。

同じ方向にばかり巻き続けるときっちりしたリース、左右を反対に巻き、つるを交差させるように編むとボリュームのあるリースになります。

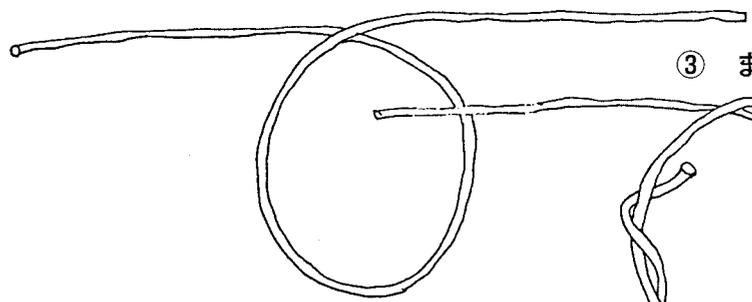
途中でつるがなくなったら、次のつるを10cmほど重ねて巻き続けます。

(3) 木の実などの飾りをつけてもよいでしょう。

まつぼっくり、ヤシャブシ、オオヤシャブシ、サルトリイバラ、ノグルミ、ノイバラ、スギ、キリ、ヤマノイモなどの実、クヌギなどのどんぐり、枯れ葉、枯れ枝などをホットボンドで接着して、華やかなリースにすればもっとよいでしょう。

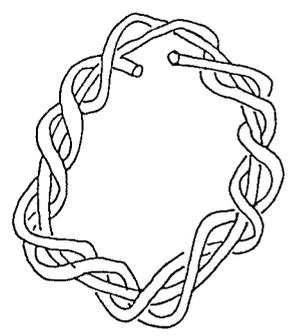
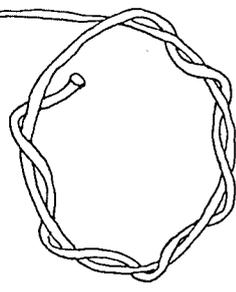
## 【ワークシート】 つるのリースのつくり方

① 長いクズのつるをえらびます。

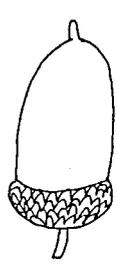


② まん中に作りたい大きさの輪をつくります。

③ また片方を輪にまきつけていきます。



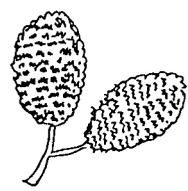
④ 片方がまきおわると、うらがえして、あと一方もまきつけていきます。



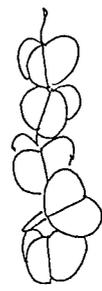
ドングリ  
(コナラ)



ノグルミ



ヤシャブシの仲間



ヤマノイモの実

